地域情報

（一社）熊本県野菜振興協会芦北支部

加工用ばれいしょの新規導入に向けて

芦北地域では、令和２年７月豪雨被災地の基盤整備計画が進められており、水田裏作での導入を目的に、令和３年度から加工用ばれいしょの栽培実証試験を実施しています。

令和５年作で、管内５ヵ所でポテトチップ用品種「オホーツクチップ」を栽培した結果、１～２月の植付で、５月上旬には加工適性試験（イモの比重や油で揚げた時のポテトチップの色）に合格し、平坦地では１月中～下旬植付で５月中旬には収量がピークとなることを確認しました。併せて、掘取機やピッカー等の機械実証を行い、これらの結果を基に、他品目と組み合わせた経営モデル案を作成しました。

今後、栽培のさらなる早進化や栽植密度について検討し、収益性の向上を図るとともに、栽培面積を拡大してドローンによる薬剤散布やハーベスターを用いた収穫等、機械利用による省力化の実証を計画しています。地域の意向を確認しながら、被災地区での新規導入にむけて課題解決に取り組んでいきます。

掘取作業

ピッカーを用いた収穫